



〈 学校教育目標 〉

自分とふるさとに誇りをもち、  
未来を生き抜く“チカラ”の育成

上関町立上関中学校  
学校だより No.16  
令和8年2月9日

HPアドレス <http://www.town.kaminoseki.lg.jp/kami-juniorhighschool/index.html>

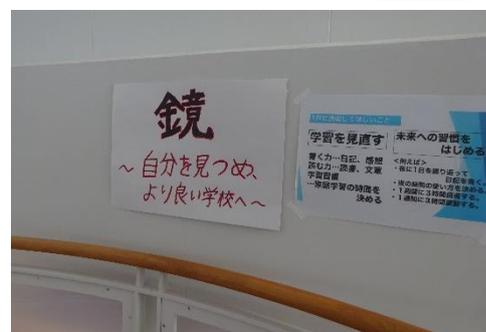
## 生徒会スローガン「鏡」に込めた思い



1月26日（月）に令和8年の生徒会スローガンが生徒会長より発表されました。スローガンは

「鏡～自分を見つめ、よりよい学校へ～」です。  
このスローガンには次のような思いが込められています。

「鏡」という言葉には、私たち一人ひとりの心が、言葉遣いや態度となって学校全体に映し出されるという意味が込められています。鏡が姿を正直に映すように、何気ない一言や日々の態度は、仲間の気持ちや学校の雰囲気に影響を与えます。思いやりのある言葉や、優しい態度は周りの人の心を明るくし、学校を輝かせます。生徒一人ひとりが自分の心を見つめ、相手を大切にする行動を心がけることで、笑顔あふれる輝く学校をつくっていきましょう。



このスローガンを生徒、教職員が常に意識して、より素晴らしい、誇れる上関中学校をつくっていきたいと思います。

## 不審者対応訓練

1月26日（月）に小中合同の不審者対応訓練を行いました。この訓練は平成13年に大阪の附属池田中学校で刃物を持った男が侵入し、児童や教員23名を殺傷した事件を受けて、全国の小中学校で行われるようになった訓練です。

上関小中学校では敷地が隣接していることから合同で訓練を行っています。今年度は小学校に不審者が侵入したという想定で、柳井警察署の警察官の方に不審者役を務めていただき、教職員の対応、児童生徒の動きを確認しました。

中学生は小学校に不審者が侵入したことを放送で知り、教員の指示に従い、不審者に見つからないよう、侵入されないよう静かに教室で待機し、次の事態に備える行動をしました。

このような訓練は、児童・生徒だけでなく教職員にとっても大切なものです。いざという時に子どもたちの命に加え、自分の命を守るためにどのような対応をするのかを確認しました。

警察の方からは不審な人物を校内で発見した場合、複数で対応すること、児童・生徒から遠ざけるようにすること、毅然とした態度で対応すること、校内の情報共有を迅速に行うことなどを指導していただきました。

また、不審者にであう可能性があるのは学校内だけとは限りません。登下校や休日に外出する際に不審者に会った場合にもどのように対応するのかも、生徒の代表がモデルになって対応する中で学びました。

今の学校は地域との連携が進み、いろいろな方が出入りされています。このような状況だからこそ児童、生徒、教職員の命を守ることを意識し、今回のような訓練を積み重ねておくことは大切なことだと考えています。



# 上関中学校の教育の特長

上関中学校は全校生徒が32名の小規模な学校です。上関町は教育にとっても力を入れており、他の町にはない特別な支援をしてくださっています。中学校では町の支援を生かしながら、人数が少ないことを利点に変える教育活動を行っています。今回はその主なものを紹介します。

## 1 数学や英語を中心に少人数で習熟度にあわせた授業ができる

数学や3年生の英語の授業は、町独自の事業でもう一人の教員を配置してくださっていることで10名前後の生徒を2名の教員で教えたり、習熟度にあわせて2つのクラスに分けて教えたりしています。疑問点に即座に対応したり、理解度に合わせて学習内容を調整したりすることができます。30人前後の生徒を一人の教員が指導する学校と比較すると、一人ひとりの学力の伸びに大きな違いがあると思います。



## 2 専門の教員が授業を担当することができる

生徒数が少ない学校では、家庭科や音楽などの技能系の教科を中心に専門外の教員が授業を担当する場合があります。上関町では、町独自の事業で教員が配置されていることで、どの教科も専門の教員が授業を担当することができます。生徒は授業に意欲的に取り組み、必要な力をしっかり身に付けることができます。



## 3 一人ひとりの活躍の場が多くある

人数が多い学校では、行事で人前に立つのは一部のリーダーの生徒になってしまいます。上関中では、その役割を全員が担う必要があります。今年度は特に、運動会練習での指導、講演会の司会、あいさつなどこれまで教員が行っていたことを生徒に委ねました。全員が複数回、リーダーとしての役割を果たす機会があり、一人ひとりが大きく成長できたと思います。



## 4 個人の事情に応じた配慮がしやすい

生徒の個人の事情により、特別な配慮が必要になることがあります。人数の多い学校であれば、全体に影響が出ることを考え、必要な配慮が十分にできないこともあります。上関中は少人数で、一人ひとりがお互いのことをよく知っていることもあり、そのような特別な配慮をしても、全体に大きな影響を及ぼすことも少なく、安心して一人ひとりに応じた対応をすることができます。

## 5 学校にかかる費用が少ない

給食費、教材費、PTA会費などの費用は学校によって異なります。上関中学校では町からの支援もあり、保護者の方に負担していただく金額はかなり低く抑えられていると思います。

この他にも「おかずを挟んで食べる時の給食のパンに切れ目が入っている」「おかずが充実している」など給食の内容についても恵まれている方だと思います。また、12月に行った上関町車海老祭り、町民対象の避難訓練など生徒が「こういうことをやりたい」と考えたときの町民の方、諸団体の方、町役場のご支援は温かく力強いものがあります。

このような教育ができる学校は他にはないと思います。もちろん他の学校にあって上関中にもないものもありますが、上関中では普通のことか他校に行くと普通でないことが多くあります。

子どもたちの教育に力を入れてくださっている町民の皆さんの思いをしっかりと感じながら、上関の子どもたちをしっかりと育てていきたいと思っています。今後ともご支援を宜しくお願いします。

